

群馬県立文書館 教材活用史料詳細カード 29

請求番号	—	文書番号	—	年代	昭和 32 年 (1957) から
史料名	群馬ニュース 1 号～80 号 (欠号あり 6, 7, 11, 42, 56, 57 号) 群馬のあゆみ ～26 号				
形態	映像フィルム	複製	あり・なし	(DVD)	
備考	DVD 全 15 枚 (No.1～15 まで)				
史料概要	『群馬ニュース』及び『群馬のあゆみ』は、群馬県広報課 (広報文書課) が企画した、県民向けのニュース映画。昭和 32 年 (1957) ～47 年 (1972) 頃までに制作された史料が活用可能。『群馬ニュース』第 1 号から 79 号まであり (欠号あり)、80 号からは『群馬のあゆみ』と名称が変更されている (連番も変更)。制作後は県内の映画館に配給され、上映が行われた。映像で県内の様子や情報を知ることができる史料である。				
指導要領 (内容) との関連	<小 4 > (5)-ア-(ア) 特色あるまちづくりや観光 <小 6 > (2)-ア-(サ) 民主的な国家、国民生活向上 <中 歴> C-(2)-ア-(イ) 日本の経済の発展 C-(2)-イ-(ア) 国民生活の変化				
活 用 例					
活用単元	小 4 昔の暮らしと町づくり・私たちの県と町づくり 小 6 新しい日本へのあゆみ (戦後) 中 3 現代の日本と世界 (戦後)				
活用場面	・当時の県政や人々の暮らしの様子が視覚的に理解できる史料として、導入、及び探求する場面で活用。				
活用方法	・DVD として視聴するだけでなく、任意の場面を画像データとして取り込み、プリントして掲示することができるほか、調べ学習の史料として提示することができる。また、教室や廊下に展示し、いつでも自由に見ることができるようにすることで、意欲関心を高めることができると考える。				
予想される生徒児童の反応など	・映像史料として児童、生徒の興味関心を高めるだけでなく、県内や人々の様子について、現代と同じこと・違うことに気づくことができる。また、県内の社会的事象が今に繋がっている関係性にも気づくことができると考えられる。				

群馬ニュース

